

平成27年度 国語科 第1学年 年間指導計画

教科目標

- (1) 目的や場面に応じ、日常生活に関わることなどについて説得力のある表現に注意しながら、話したり聞き取ったり考えをまとめさせる。
- (2) 目的や意図に応じ、日常生活に関わることなどについての確に書いたり文章を書くことで考えをまとめさせる。
- (3) 目的や意図に応じ、様々な文章や本を読み内容を的確にとらえるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げさせる。
- (4) 音声、語句、語彙、文法、漢字などの国語に関する基礎的な事項や国語の特質について理解し、知識を身に付けている。また、日常の言語活動を振り返り言葉のきまりについて気づかせる。

月	単元名・題材名	学 習 活 動
4	野原はうたう にじの見える橋	詩から作品に込められた思いを読み取り、それを朗読で表現する。 物語から登場人物の心情の変化を読み取り、その理由を考える。
5	ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって	説明的文章を読み、文章の中にある論理展開を把握する。 説明的文章を読み、筆者のものの見方、考え方を知り、自己の考え方を見直す。
6	はじめての詩 詩四編 漢字1 漢字の組み立てと部首	複数の詩から自分にあつた詩を選び、作品に込められた思いを読み取り、それを朗読で表現する。 漢字の組み立てと部首について学習する。
7	文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう	文節・単語の概念を知り、普段自分が使っている言葉が細かい単語の積み重ねであることを学習する。
9	星の花が降るころに 大人になれなかった弟たちに…… 指示する語句と接続する語句	物語から登場人物の成長を読み取り、その理由とその後の物語について考える。 時代背景をもとに登場人物の心情を読み取り、物語に込められた思いを考える。 指示語・接続語について学習する。
10	シカの「落ち穂拾い」 いろは歌 七夕に思う	説明的文章を読み、文章の中に数値などの情報を含める意味を学習する。 古典的仮名遣いに触れ、古典の中に見る日本について考える。 文章を読み、現代まで続く古典文化について考える。
11	蓬萊の玉の枝 今に生きる言葉 故事成語	古典を読み現代との違いに気づき、また古典の世界と変わらないものもあることに気づく。 古典から、現代に通じる考え方を学ぶ、また漢文の独特のリズムに慣れる。
12	流氷とわたしたちの暮らし 文法への扉2 だれが・何を・どうする？	説明的文章を読み、文章の論理展開を理解する。またその問題提起から、自分たちの生活を見直す。 主語・述語などの文の成分について学習する。
1	漢字2 漢字の音訓 少年の日の思い出	漢字の音読み・訓読みについて学習する。 物語から、複雑な人間の心情を読み取り、自己の思いと比べる。
2	文法への扉3 単語の性質を見つけよう 漢字3 漢字の成り立ち	自立語・付属語や、品詞について学ぶ。 象形・指示など、漢字の成り立ちについて学ぶ。
3	木は旅が好き	詩から作品に込められた思いを読み取り、それを朗読で表現する。
合計授業時数		140時間